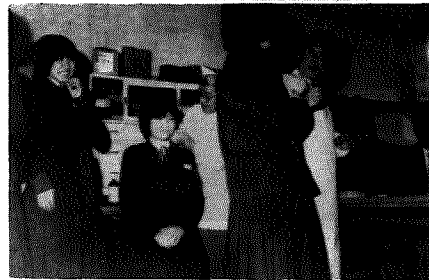


トピックス



十一月二十七日(金)、板井保育所で料理実習。献立はサラダ。いつもは「私食べる人」の子供たちも精いっぱい腕をふるいました。

▼あなた、なに型？
新潟大野ライオンズクラブのみなさんが、12月9日(木)黒崎中3年生の血液型検査のボランティア。毎年行なっているものです。



▶第一回黒崎町バドミントン大会
十二月十三日(日)。この日は雪まじりの強風。でも、体育館の中は熱気でむんむん。

優勝は—
男子シングルス 山崎芳一
男子ダブルス 横田光義 鷺尾紀夫組
女子シングルス 滝沢恵子
女子ダブルス 滝沢恵子 笠原美雪組

輝かしい新春を迎えるに当たり町議会を代表して町民の皆様、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。
浅学非才な私が、昨年五月二日町議会においてはからずも議長の



最大限の行政成果を

議長 鳴海敏雄

重責を負うこととなり、いままさらながら、その使命の重大さを痛感いたしております。
その後、私は、議会の円滑な運営と、町民の皆様の声が町政に反映されるような環境づくりのために、ひいては町政の伸展のため努力を続けてまいりました。
昨年は、オイル、ショック以後の厳しい経済情勢で依然として景気の回復は望めず、また、当町の重要産業の一つである水稲は政府の減反政策に加え不作となり、町民生活は極度の圧迫を受け、地方財政は危機的様相がさらに深刻化の一途をたどるなかで暮れました。

国では「増税なき財政再建」をキャッチフレーズに、第二次臨時行政調査会の第一次答申を受けて、ゼロ・シーリングすなわち、伸び率ゼロの概算要求となり、公債依存体質からの脱却をめざしており地方行政に少なからず影響するものと考えます。
この様な状況を踏まえ、当議会では、昨年九月定例会で、黒崎町議会議員の定数を減少する条例(現状維持)を議員提案により、全会一致にて可決し、次回昭和五十八年四月の統一地方選挙から実施することといたしました。
いっぽう、町民の皆様への行政に対する要望は、ますます高まっております。このような状況の中で迎えた本年は、黒崎町にとつて極めて重要な年になると思われます。すなわち、新幹線の開業、高速

道路の延長により県都新潟市の近郊として都市化が進み、これに伴う諸問題に対応するには、あまりにも厳しい財政状況のなかで、町民を代表する議会人として、国、県に対しその対策を強く働きかけますとともに、執行機関と相協調して、財政の許す限り最大限の行政効果をあげるため、一丸となつて努力すべき年であると考えております。
町議会は、町民の代表として、議決機関の機能を最大限に発揮しつつ、町民の皆様への御期待にそつよう努めてまいります。
どうか、本年もよりいっそうの御支援、御協力をお願い申し上げます。昭和五十七年が町民の皆様にとりまして幸せな年でありませうようお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

議員

- 黒川 繁
- 大野仁平治
- 時田 善二
- 大坂 久六
- 竹内 竹市
- 渡辺 武七
- 大矢 誠策
- 田代 敏男
- 磯部 博
- 大野 周助
- 笠原 満夫
- 保町定次郎
- 泉 喜十郎
- 江端 年一
- 高橋 博男
- 東条 栄松
- 熊木 惣平 (議席順)

明けましておめでとうございます

長期的展望にたつて

町長 浅妻茂一郎



明けましておめでとうございませす。年頭に際し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
わが町も昨年は明治三十四年旧五村が合併して満八十年を経過し、あと十三ヶ月で、町制施行十周年を迎えます。私はこのときにあ

たり「町造り汗を流して明日を築こう」と、全町民とともに力を合せて、精いっぱいがんばつて、明年の十周年に備える予定です。
本年は町民憲章の制定をはじめ、町民歌、黒崎音頭などを策定、魅力と活力のある田園都市構想の建設元年といたしたく、昨年からの議会の協賛を得て、都市問題懇談会を発足させていただきました。委員十三名の方々をご委嘱申し上げて、本町の将来のあるべき姿について、次の四点を諮問致しました。
第一点として、人口規模の望ましい姿、第二点、土地利用の望ましい姿、第三点、隣接市町村との

機能分担、第四点、町の顔、性格をどのようにつくるかなどです。四月の第一回懇談会から真剣な協議を願つて、過去八十年の歴史と文化をひもとく、長期的展望にたつて、あらゆる資料を分析されて、総論的・中間答申を賜わり、さらにこれを基本として、各論について分析、考察を加えて、本答申ということになりました。
私はこれを受けて、適時、適切な施策を行うため議会に回り、議会と一体になって「コミニティ」造り、理想郷建設に渾身の努力をする所存です。
本年はご承知のように、上越新幹線の開通や新潟日報本社の全面移転、全国トラック協会ステーションの建設、さらに昭和六十年までに新潟県庁舎の移転、流通センターの操業開始、新潟西バイパス

の建設などで、大きな変化の波が押し寄せてまいります。国では第二次臨時行政調査会から真剣な議論はゼロ・シーリング、デフレ政策の可否が論議されております。いずれの道を選択するか、まさに運命の別れ道といった時代に直面していると思ひます。
また、当面の問題として、米の減反、商工振興、役場庁舎の位置づけなど、急務の問題が山積してあります。そんな中であつて今や黒崎の新潟であり、新潟の黒崎であり黒崎の白根であり、白根の黒崎であつて、黒崎のみを考えて物事を計画する時代は去つたと思ひます。みんなでごえ総力を結集して、良い年にならうではありませんか。町民各位のご活躍とご多幸を祈念申し上げて、年頭のごあいさつといたします。

新年のご祝詞を

申し上げます

- 町長 浅妻茂一郎
- 収入役 鶴巻 茂市
- 教育長 宗村 栄助
- 議長 鳴海 敏雄
- 副議長 坂井 行康
- 議員 大谷 福蔵
- 安藤 忠治
- 石附 寅市
- 小林 助治
- 佐藤 和夫
- 藤橋十三男
- 佐藤 寅一